

3年福祉保育コース「介護過程」（選択科目）多職種の外部講師から学ぶ

令和4年6月2日（木）5時間目

理学療法士による講座

医療法人 博仁会 フロイデ水戸メディカルプラザ 國井 崇洋 様

（一般社団法人 茨城県リハビリテーション専門職協会より紹介）

講座では、「リハビリテーションは、単なる機能訓練ではなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を可能にし、自立を促すもの」であることから、「リハビリテーション計画書」は、患者さんやご家族の希望を基に、リハビリテーション専門職だけではなく、医師や看護師、介護士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー等が集まって協働して作成していること、計画を一定期間実行した後は、各専門職の視点で評価していくことを学びました。また、体を良くすることを目的に支援をするだけではなく、「相手は何のために、体をよくしたいのか」「相手はどんな生活をしたいのか」という、相手の価値観を大事に専門職として支援していく視点や、介護士は、一番、相手の生活のすべてに関わるため、リハビリ専門職と連携し、生活に活かすリハビリを理解し、毎日の動作に取り入れることでリハビリの役割を担うことができることを学ぶことができました。

その他にも、リハビリテーションや理学療法の意味、理学療法士の関わる場面、多職種で支えるリハビリテーションについて、教科書では学べない貴重な内容を学ぶことができました。

ご指導、ありがとうございました。

